



石段補修のための石を近くの沢から運ぶ

(特非)大雪山自然学校

大雪山国立公園における ボランティア育成と継続的な 受入の仕組みづくり

入門助成

1年目

実践

ボランティアを
送り込む団体

5団体

ボランティア
受け入れ人数

299人

活動の全体目標に
対する達成度

70%

課題

大雪山国立公園・旭岳エリアとキトウシにてボランティアを育成すること、保全活動を持続可能にすること、自然環境の荒廃を止めること。

目標

●2泊3日程度のボランティア育成プログラムを実施 ●日帰りのボランティア育成プログラムを実施 (研修内容:現地でのOJT、座学ワークショップ等)

活動内容

- 「登山道整備」「多様な利用者への情報提供・啓発活動」「下草刈り」「作業道の整備」を通して、ボランティア育成を行った。
- 11種類のボランティア育成マニュアルを作成した。
- ボランティアを対象とした研修を実施した。



指導の下補修 左:補修前 右:補修後

達成できなかったこと

将来のボランティアコーディネーターを想定してアルバイトを採用したが、コーディネーターまでは育てられなかった。

今後の展望

今年5団体に増えた連携団体におけるボランティア参加者を増やす。

成果と工夫した ポイント



成果

- ・五つの連携団体ができた(旭川市内大学2か所、東川町内専門学校2か所、NPO法人ezorock)
- ・ボランティア参加延べ人数が299人となった。
- ・11種類のボランティア作業マニュアルを活用した。

工夫

連携団体と協力して広報を行うことで、効率的にボランティア募集ができた。